



Business Report

2019年3月期 中間株主通信
2018年4月1日▶2018年9月30日

トップメッセージ
営業利益・経常利益において
過去最高益を更新

特集 「清潔な肌で印象アップしたい」
ヤング男性の肌ウォンツに着目
ギャツビー スキンケアシリーズ



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

営業利益・経常利益において過去最高益を更新

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期は、前年同期比較で減収となっておりますが、これは今期より国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除する表示法に変更した影響であり、前年同期を同様の基準に算定した場合は**実質2.1%の増収**となります。なお、各段階利益においては、いずれも増益となり、営業利益・経常利益においては過去最高を更新いたしました。売上高につきましては、日本では7月以降の酷暑の影響を受け、「ギャツビー」の夏シーズン品が好調だったことに加え、女性ブランドの「ビフェスタ」が好調に推移しました。インドネシアにおきましては、コア・ブランドである「ギャツビー」が「スタイリングポマード」以外のアイテムの落ち込みが見られ苦戦しました。海外その他は、「ギャツビー」、「ビフェスタ」とも堅調に推移し、概ね好調となりました。

利益面では、主に日本、海外その他における増収効果に加え、一部販売費用の投下時期変更もあり増益となっております。

2019年3月期業績見通し

売上高	800億円	前期比	98.3%*
営業利益	86億円	前期比	101.7%
経常利益	93億円	前期比	100.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	58億円	前期比	95.3%

*国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除する表示法に変更した影響であり、前年同期を同様の基準に算定した場合は3%強の増収となります。

VISION2027実現に向けて、着実に基盤整備を進めています

前期(2018年3月期)よりスタートした第12次中期経営計画(MP-12)は、「[VISION2027]実現のための企業基盤整備期」として位置付け、「カテゴリ戦略の推進とブランド価値向上の徹底」、「インドネシアを中核にした海外事業の成長性向上」、「グループオペレーション体制の構築と単位あたり生産性の向上」を基本方針として、今後もっとも成長の期待できるアジア地域の成長と共に当社グループも飛躍的に成長するためのさまざまな取組みをスタートしております。下半期においても、「ギャツビー」、「ビフェスタ」を中心とした各ブランド強化のための積極的投資に加え、引き続き、真のグローバル企業を目指したグローバル・マネジメントプラットフォーム構築等の基盤整備を進めつつ、当期目標の達成を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役 社長執行役員
にしむら もとのぶ
西村 元延

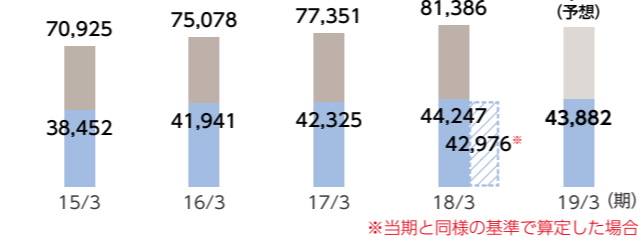
Financial Highlights

2019年3月期

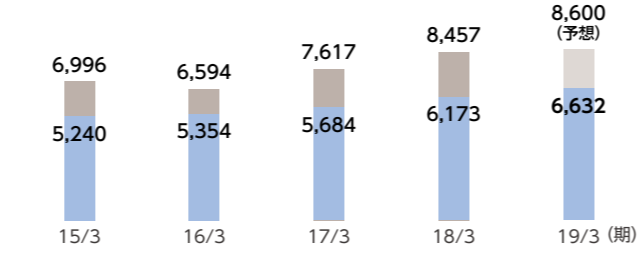
第2四半期累計決算ハイライト

第2四半期累計 通期 (百万円)

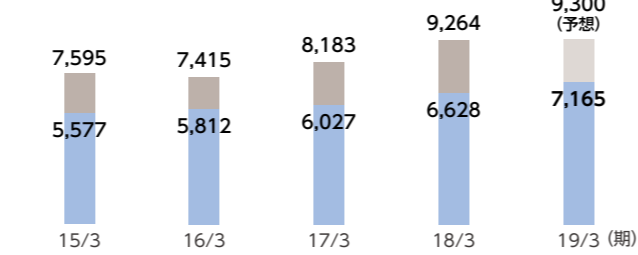
売上高 **438億82百万円** 前年同期比 **0.8%減** (実質**2.1%増**)



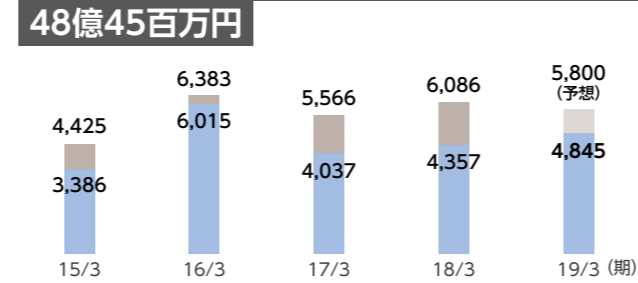
営業利益 **66億32百万円** 前年同期比 **7.4%増**



経常利益 **71億65百万円** 前年同期比 **8.1%増**



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 前年同期比 **11.2%増**



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期末* (2018年3月31日)	当第2四半期末 (2018年9月30日)
流動資産	58,360	59,534
固定資産	34,241	35,175
資産合計	92,602	94,710
流動負債	11,749	10,784
固定負債	5,103	5,471
負債合計	16,853	16,255
純資産合計	75,749	78,454
負債純資産合計	92,602	94,710

*当第1四半期連結会計期間の期首から「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を適用しているため、2018年3月期株主通信の金額と異なっています。

Point

資産(21億7百万円増加)
現金及び預金が増加したこと等により21億7百万円の増加となりました。

負債(5億97百万円減少)
流動負債のその他に含まれる未払金が減少したこと等により5億97百万円の減少となりました。

純資産(27億5百万円増加)
利益剰余金が増加したこと等により27億5百万円の増加となりました。

注)2019年3月期第1四半期より、国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除しております。以下の前年同期比につきましては、2018年3月期第2四半期累計実績を同様の基準で算定した場合の比較値を掲載しております。(該当箇所には*をつけております)

所在地別売上高・営業利益の概況

日本

●売上高 **286億90百万円** 前年同期比 **4.6%増**

●営業利益 **48億36百万円** 前年同期比 **6.5%増**

売上高は、「ギャツビー」や「ビフェスタ」の好調により増収となりました。営業利益は、主として効率的なマーケティング活動に伴う販売費の減少により増益となりました。

インドネシア

●売上高 **85億55百万円** 前年同期比 **10.3%減**

●営業利益 **6億1百万円** 前年同期比 **3.9%減**

売上高は、インドネシア国内において売上が減少したことにより減収となりました。営業利益は、効率的なマーケティング活動に伴う販売費の減少があったものの減収の影響で減益となりました。

海外その他

●売上高 **66億36百万円** 前年同期比 **10.6%増**

●営業利益 **11億94百万円** 前年同期比 **18.6%増**

売上高は、一部の国を除いて概ね好調に推移し増収となりました。営業利益は、主として増収効果により増益となりました。

事業別売上高の概況

男性事業

主なブランド:ギャツビー、ルシード

278億23百万円 前年同期比 **0.4%増**

国内と海外その他で「ギャツビー」が好調に推移しました。国内の「ルシード」が好調に推移しました。

女性事業

主なブランド:ビフェスタ、ピクシー、ルシードエル、ピュセル

124億85百万円 前年同期比 **7.0%増**

「ビフェスタ」が国内外ともに好調に推移しました。国内の「ルシードエル」が好調に推移しました。

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Topics

トピックス

ギャツビーの更なる強化に向け、ブランド価値を再定義 新イメージキャラクターに柳楽優弥さん、新田真劍佑さんを起用!

1978年の発売以来、常にその時代の“旬のかっこよさ”を提案する「ギャツビー」は、男性のグルーミングシーンを満足させる幅広いカテゴリと品揃えで、若者の心強い相棒として支持されて今年で40年を迎えました。この度、コミュニケーションを刷新し、いまの“スタイリッシュさ”、“やんちゃさ”、“カッコよさ”などを体現できる人物として、俳優の柳楽優弥さん、新田真劍佑さんを起用。彼らがダブル主演を務める「GATSBY COP」というストーリーCMを展開しています。



ルシード 40代男性のスキンケアエントリー製品として 泡タイプ洗顔発売

ミドル世代の男性は、加齢に伴い皮脂によるベタつきの悪化や、洗顔後の肌のつっぱりといった若い頃にはなかった肌悩みを感じるようになってきます。そんなときに、まずは洗顔行動から対処を始める生活者が多く、そんな“スキンケアの入口”とも呼べる洗顔カテゴリに、気になる顔のアブラをケアしながら、活き活きとした肌へ導く洗顔シリーズを提案します。最必要期には、コミカルな表現でスキンケアの重要性を訴求する新TVCMも投下し早期認知拡大を図っています。



ビフェスタ 美容オイル配合でメイク汚れを落とすと落とす 新製品発売

日本のみならず海外各国でも順調に実績を拡大している「ビフェスタ」のクレンジングシリーズから、オリジナルブレンドの美容オイル配合で、メイクや皮脂でゴワつく肌をやわらかくほぐしながら、心地よく落とすとメイク汚れを落とす「ビフェスタ」ならではのクレンジングオイルをあらたに提案します。美肌をかなえる「ビフェスタ」の世界が、お風呂場クレンジング派の女性にも広がります。



ルシードエル オイルトリートメント#EXヘアオイル 単品売上数量No.1*に!

2014年秋に発売のアルガンオイル配合の「ルシードエル オイルトリートメント」シリーズは、アウトバストリートメントにおけるオイルトリートメントの伸長のトレンドにも乗って、堅調に実績を拡大してきました。中でも、「#EXヘアオイル」はシリーズのリーディングアイテムとして多くのリピートを獲得し、単品としてカテゴリNo.1*製品となりました。2018年8月にはより“しっとりまとまる”ダメージケアを体感できる「#EXヘアリペアオイル」を追加発売してシリーズの強化を図ってまいります。



*マダム算出市場調査(数量)期間:2018年4月~9月 ヘアオイルカテゴリ

バリアリペアマスク 着々と海外各国での展開を拡大

日本国内で、アジア中心の訪日客によるインバウンド効果も受けて実績好調な「バリアリペア シートマスク」ですが、既にタイ、台湾、シンガポール、マレーシアとアジア各国へ水平展開を実施しております。日本を訪れた際の購入にとどまらず、日本の店頭を当社商品を知り得る機会とすることで、帰国した後に、自国でもリピーターとなっていたことを狙いとしています。広くアジアに展開する当社ならではの今後の新しいビジネスモデルの確立を図ってまいります。



Special Contents **特集**

「清潔な肌で印象アップしたい」ヤング男性の肌ウォンツに着目



『清潔感』『好感度アップ』というアプローチで、未使用者のエントリーも促進

今回わかったことは、彼らがスキンケアに求める価値と、既存のスキンケア商品が提供している価値(イメージ)にギャップが存在しているということです。というのも既存のスキンケア製品は肌トラブル解消を前面に打ち出したものが多いのに対して、“ポテンシャルユーザー”がスキンケア製品に求める価値は、特にトラブルを感じている状態ではないが、「今よりも調子の良い肌になる」とか、「使っただけで見た目の良い状態へ導く」といった機能であり、その背景にあるのは「他人からの印象を良くしたい」という意識が高いことでした。

更に、“ポテンシャルユーザー”は、①「しっかりと肌をケアして調子の良い肌へ導きたい」、②「大事な場面では見た目印象はより良くしたい」、③「トラブルのない肌になりたい」という3つのウォンツに沿ってグルーピングすることができ、それぞれのウォンツに対応する製品ラインアップを準備することにしました。

スキンケア製品は決してトラブルを感じている人だけのものではないということをしかりと彼らに伝え、「使うたびに調子の良い肌を整える」、「いつでもどこでもすぐに見た目印象を整える」、「トラブルのない肌へと整える」という3つの切り口から、彼らの共通のゴールである「今よりも清潔好感度の高い肌へ導く」というウォンツを満たすシリーズとしてあらたに提案します。

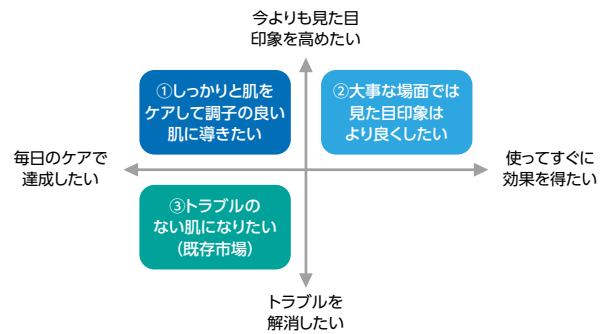
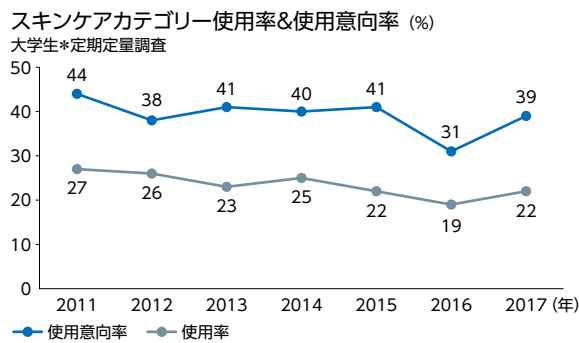
これからも「GATSBY」は、日本を含む、アジアのヤング男性のライフスタイルに寄り添い、お役立ちを図ってまいります。

関心は高いのに、意外に低いヤング男性のスキンケア使用率

近年、拡大傾向の男性用フェイススキンケア*市場ですが、これを牽引していたのはミドル年代の男性でした。

一方、ヤング男性向けのスキンケア市場は横ばい状態が続いていますが、アンケート調査の結果「使いたいと思っている」使用意向率と、現在の使用率には大きくギャップがあることがわかりました。

そういった現在は使用していないが、今後スキンケアを使用する可能性がある“ポテンシャルユーザー”の不満点を掘り起こすことが今回のシリーズ強化の最重要テーマでした。 *スクンローション、スクンクリーム、スクンミルク製品の合計



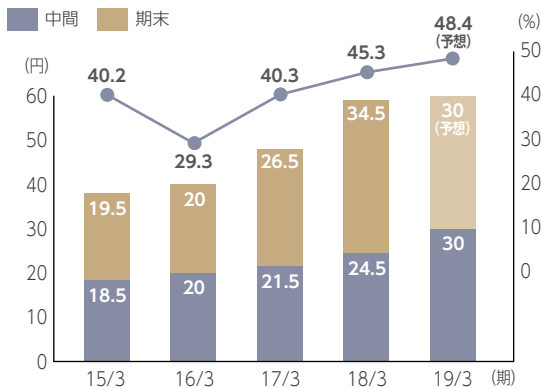
株主還元の基本方針

配当に関して

特別な要素を除いた連結ベースでの配当性向40%以上の継続

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策として位置付け、中長期的な事業拡大、新規事業開拓および企業リスクのための内部留保に配慮しつつ、配当金による株主還元を優先的に実施することを基本方針としております。配当金に関する数値目標としましては、特別な要素を除いた連結ベースでの「配当性向40%以上」としております。

配当金と配当性向の推移



*当社は2017年10月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施しており、上記グラフの数値はすべて株式分割の影響を考慮した数値となっております

株主優待について

5,000円相当の当社商品詰め合わせをお届け

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。100株以上の株式をご所有(3月31日現在)の皆さまに5,000円相当の当社商品詰め合わせを、6月初旬にお届けしております。当社をより身近に感じていただくために、優待品は当社のお奨めする商品、新製品を中心に選定しております。

2018年実施株主優待詰め合わせ



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日

〔そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日〕

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 および特別口座 三井住友信託銀行株式会社
 の口座管理機関
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 照会先 ☎0120-782-031

※詳細は、当社サイトをご確認ください
 URL <https://www.mandom.co.jp/ir/src/stockinfo.html>

会社概要

[2018年9月30日現在]

社名 株式会社マンドム
 本社 大阪市中央区十二軒町5番12号
 設立 1927年12月23日
 資本金 11,394,817,459円
 従業員 593名 (連結2,731名)
 事業内容 化粧品、香水の製造および販売、
 医薬部外品の製造および販売

株式会社マンドム IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
 TEL:06-6767-5020 FAX:06-6767-5044
 株式会社マンドムはISO14001(福岡工場)を認証取得しています。

IRメール配信サービス

当社のIR-会社情報をタイムリーにお知らせしています。
 (会員登録はこちらから)

マンドム IR 情報 検索

